

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ  
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

PAN-OS 10.0 系におけるファクトリーリセットに関する不具合(PAN-153816)のお知らせ

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださいまして誠にありがとうございます。この度、Palo Alto Networks 社より PAN-OS 10.0 系にてファクトリーリセットに関する不具合の修正が行われましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

PAN-OS 10.0 系にて 10.0.6 より前のバージョンをご利用の際に、ファクトリーリセットで PAN-OS 9.1 系以下を起動 OS として指定した場合に、正常に機器が起動しない不具合が発見されております。この不具合が起きた場合の復旧方法は機器交換のみとなります。

2. 対象のお客様

PAN-OS 10.0 系にて 10.0.6 より前のバージョンをご利用のお客様。

OS バージョン	影響を受ける	影響を受けない
PAN-OS 10.0	<10.0.6	≥10.0.6

3. 回避策

PAN-OS 10.0 系から 9.1 系へご利用 OS を変更する際には、ファクトリーリセットでの起動 OS 変更ではなく、WebUI または CLI の PAN-OS ソフトウェア更新機能を使用してダウングレードもしくは Revert で実施ください。

4. 恒久対策

本不具合の修正が含まれている PAN-OS 10.0.6 以降へのバージョンアップをご検討ください。

下記メーカリリースノートもご参照ください。

- ・ PAN-OS 10.0 Addressed Issues (PAN-153816)

[https://docs.paloaltonetworks.com/content/dam/techdocs/en\\_US/pdf/pan-os/10-0/pan-os-release-notes/pan-os-release-notes.pdf](https://docs.paloaltonetworks.com/content/dam/techdocs/en_US/pdf/pan-os/10-0/pan-os-release-notes/pan-os-release-notes.pdf)

以上